

# 家庭菜園を楽しもう!

VOL.10

## 作物の病虫害と生理障害

2013年もあっという間に12月となり、寒さも本格的になってきました。風邪を引いたりはしていませんか？人間と同じで植物も病気になったり、生育が悪くなることがあります。今号は、野菜の病虫害と生理障害についてのお話です。健康な野菜をつくるにはどうしたらよいか、みていきましょう。



作者: ヤンマー農機販売(株) 宮崎(ジュニア野菜ソムリエ)

### 作物の生育不良について

作物がしおれたり変色したりする原因は、「病虫害」と「生理障害」の大きく2つに分けられます。病虫害ですと生育不良の原因は虫やカビ・細菌などの生物ですが、一方で生理障害は原因になる生物はおらず、栄養素や水分、温度などのバランスがとれていないことが原因で生育不良になります。

#### 〈生理障害〉

生理障害の原因は水分状態、温度、栄養素のバランスなどいくつかありますが、栄養素が原因で異常がでている例をいくつか紹介します。作物・土壌条件によって症状の出方は異なるので、これらの症状が出ているからといって必ずしもその要素が原因とは限りません。

<b>カリウム欠乏症</b> (下葉から出やすい)  斑点を生ずる 葉脈間が黄化する 葉縁が黄化する	<b>マグネシウム欠乏症</b> (下葉や果実近くの葉に出やすい)  葉脈間が黄化する 葉脈に沿って黄白化する 葉縁が黄化する	<b>カルシウム欠乏症</b> (生長点近くに出やすい)  トマトの果実の花落ち部分から腐ってくる タマネギのしんの部分が腐る
---	--	--

#### 〈病虫害〉

アブラムシやダニなどが原因の「虫害」と、カビや細菌が原因となる、いわゆる「病気」といわれる症状の2つがあります。

虫害		病気
<b>虫がいない場合</b>  ヨトウムシなど	<b>虫がいる場合</b>  アオムシ(緑色) ヨトウムシ(褐色、黒褐色) カブラヤガ、ハタタチ類(紫褐色)  葉脈に沿って緑色が抜ける(アザミウマ類) 白色の細いトンネル状(ハモグリバエ)	 白いカビ  円形・角形の斑点 モザイク状にちぢれる

### 家庭菜園で起こりやすい病気と対策

生理障害については適期の栽培や水分管理などの栽培管理をきちんとすることで回避できますが、病虫害はなかなかさうもいきませんが、どの作物がどのような病虫害を受けやすいのか、どうしたら病気を防ぐことができるのか、みていきましょう。

症状	主な病気	主にかかる病気	対策
<b>斑点が目立つ</b> 	べと病	キュウリ、メロン、果菜類	高温多湿で発生するものが多く、風通しが悪いと発生しやすいです。葉裏から侵入することが多いので、敷きワラやマルチングをして泥はねを防ぎましょう。
	炭そ病	イチゴ、スイカ、ホウレンソウ	
	黒斑病	ニンジン、ネギ、ハクサイ	
	サビ病	ネギ、ミツバ、玉ねぎ	
<b>しおれて枯れる</b> 	イチヨウ病	トマト、イチゴ、キュウリ、ホウレンソウ	連作を避け、接ぎ木苗を活用しましょう。
	半身イチヨウ病	果菜類、キャベツ、レタス	
	立枯病	各種野菜	
<b>茎や株の地際部が軟腐し、細くくびれて倒れる</b> 	疫病	トマト、キュウリ、ピーマン	定期的に防除を行うことと、多湿でやや低温時に発生が多いのでそうした時期は特に気をつけてください。
	灰色立枯病	果菜類、キャベツ、レタス	
	軟腐病	レタス、ハクサイ、キャベツ、ダイコン	
<b>株全体が枯れる、腐る</b> 	モザイク病	各種野菜	高温多湿で発生しやすく、発病すると薬剤では防げません。排水をよくして、連作は避けましょう。また有機物を施用して土作りをしっかりしましょう。
	黄化壞疽病	ナス科、マメ科、キク科	
	萎縮病	ネギ類	
<b>ちぢれて枯れる</b> 	モザイク病	各種野菜	アブラムシやアザミウマなどの虫が病原菌を運んでくれます。防虫をするとともに、発病した株は早く抜き取りましょう。
	黄化壞疽病	ナス科、マメ科、キク科	
	萎縮病	ネギ類	

作物によって病気のかかりやすさ、虫による被害の受けやすさは差があります。丁寧な栽培管理をすることでその程度を軽くしたり、被害を回避することができます。いつも同じ病虫害に悩まされている方は、栽培管理の仕方を少し見直してみると、改善されるかもしれません。いろいろ試して、元気な野菜を育ててください!

### ハクサイはビタミンCたっぷり

春夏にも出回りますが、本来の旬は冬です。寒い夜の鍋にハクサイは欠かせない食材です。ほとんどが水分ですが、風邪の予防や免疫力の向上に効果のあるといわれるビタミンCを豊富に含み、食物繊維も豊富なので整腸作用も期待できます。ビタミンCは水溶性ですので、水に溶けて無駄にしないように茹ですずに蒸したり、冷ますときもザルに広げるなどの工夫でビタミンCの流失を防ぎましょう。外葉の緑色の部分にはβ-カロテンも含まれているので残さず使い切りたいたいですね。また、ハクサイによく見られる黒い斑点は栄養過多の細胞に出るものなので、食用には差し支えありません。調理の幅が広い野菜なので、旬のこの時期、たくさん食べたい野菜です。



次号VOL.11は **ジャガイモ** についてです!

